



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど

2017.12  
Vol.35

## 自分のからだをメンテナンス もっとよく知る！健康増進センター



みなさんは「人間ドック」にどのようなイメージを持っていますか？

自分の健康のためとはいえ、「受診日前の検便や検尿、問診票の記入が面倒くさい」とか、「内視鏡検査が不安…」と思っている方も多いのではないのでしょうか。

今回の「あいのまど」では、そんなイメージを払拭すべく、「健康増進センター」の伊嶋健診事務課長に、当院の人間ドックについてお話を伺いました！

健康増進センターのメンバー（写真最前列右から2人目が伊嶋健診事務課長）

### “不安”を“安心”に変える！スタッフの心がけ 常に最新の情報をお届けします！

人間ドックを受診される方には、受診に対して積極派と消極派がいます。消極派の方からは「面倒だ」、「不安だ」、「事業所に言われて仕方なく」等の声を伺います。

受診する時は、誰でも多少なりとも不安な気持ちはあるかと思いますが、当健診部では、少しでも不安を解消し、快適に受診できるようスタッフ一同で心がけています。

#### ①安心して検査を受けていただくために

- ・検査前に説明を行い、適時お声がけをして検査をすすめています。

#### ②安心して受診できる環境づくり

- ・明るい雰囲気を作るため、声の明るさ・大きさに配慮し、笑顔で対応しています。
- ・途中で体調が悪くなっている人がいないか、不安を感じている人がいないか等目配りをして、すぐに対応できるよう心がけています。

胃内視鏡検査を希望される方のために「空き状況」を2ヶ月先まで掲示しています。また、現在、ホームページを来年1月に全面リニューアルする予定です。



誰もが一番最初に立ち寄る受付。スタッフさんの笑顔が輝いています！

### これから受診されるみなさんへ

「私たちは心の通った検診を提供し、皆様が健やかな日常生活を送られるよう支援します。」の理念を基に日々、受診者の方へ対応しています。病気の予防、早期発見、健康の維持のためにも当院ドックを受診してみませんか？

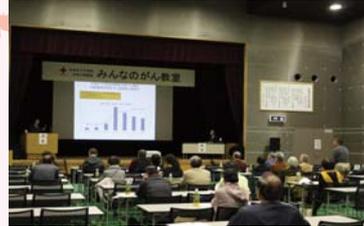
「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。



11月5日（日）、通算10回目となる当院の市民公開講座「みんなのがん教室」が開催されました。参加者の方からも好評をいただいた当日の講座の様子をちょっとだけお届けしちゃいます！

PHOTO  
じゃしん



講座では、堀川泌尿器科副部長、伊藤乳腺外科副部長、村田健診部長の3名の先生方を講師としてお迎えし、昨今の研究データをもとにしたがんの基本知識や検診の上手な受け方についてご講演いただきました。

講演では健診を受けることの長所・短所両方を分かりやすくお話いただき、参加者の方からは「参考になった」、「わかりやすかった」との声が多く寄せられました。

「あいのまど」をお手に取ってくださった皆さん、ぜひ当院の市民公開講座に参加してみませんか？皆さんのご来場をお待ちしております！

### 「放射線科」ってどんなところ？

病院の西玄関に入って左側一帯にあるのが放射線科。受付を基点として左側にバリウム検査などを行うX線TV検査室、一般的な胸部撮影などを行う胸腹部撮影室、右側には乳房撮影室や骨密度検査室、整形分野など多機能な骨部撮影室などがあります。その奥、左に曲がると精密検査や治療を行うCT・MRI検査室や血管撮影室、さらにRI・放射線治療室などがあります。外来・入院患者さんにとって撮影・検査は1大イベント(大仕事)と思います。みなさんにとって、無理なくスムーズかつ円滑に撮影・検査が行えるように日々心掛けております。

### 大切なのは「人のつながり！」

病院の存在意義は患者さんの診断と治療、また健診が目的です。放射線科では、いろいろな部門との連携を通じた業務を行っております。時には患者さんの協力も不可欠です。より良いコミュニケーションの中で、安全・安心をモットーに検査・撮影を行っていきたくと考えております。分からないことや聞きたいことがありましたら、お気軽にスタッフに声を掛けていただければ幸いです。



From  
放射線診断科部技師長  
三浦 司  
Tsukasa Miura

#### Profile

出身地  
南秋田郡井川町  
趣味

魚釣り  
(昔は野球少年・将棋?段)